

令和3年2月8日（月）

山本一太群馬県知事

臨時記者会見

令和3年度当初予算案

「新型コロナウイルス封じ込め加速予算」

「新たな未来構築予算」



令和3年2月8日(月)



Gunma Prefecture

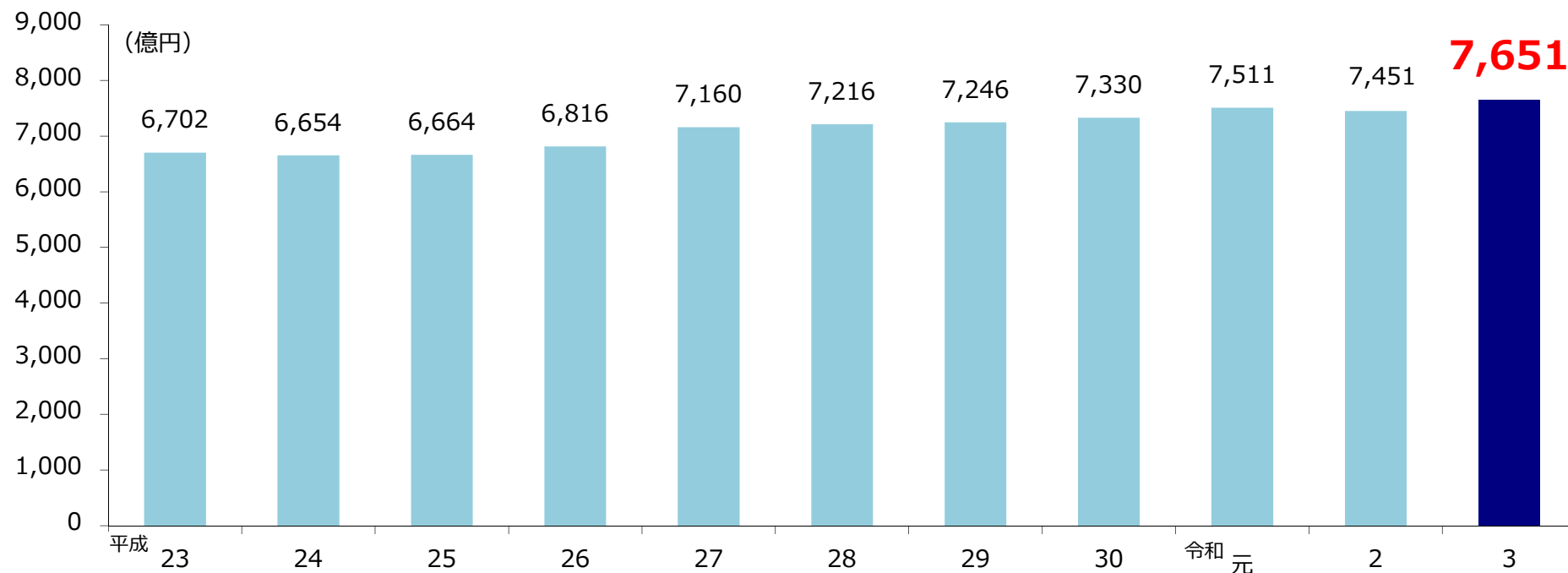
群馬県

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

予算規模

総額 **7,650億7,700万円** (前年比 **2.7%増** )

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策経費の大幅な増加により、前年度に比べ **+200億円の増**
- ◆ 制度融資を特別会計に移管した **平成20年度以降、最大** の予算規模



歳入の状況

県税等は大幅に減少

- 県税 ▲ 120 億円
- 地方消費税清算金 ▲ 129 億円

臨時財政対策債は増加・その他県債は抑制

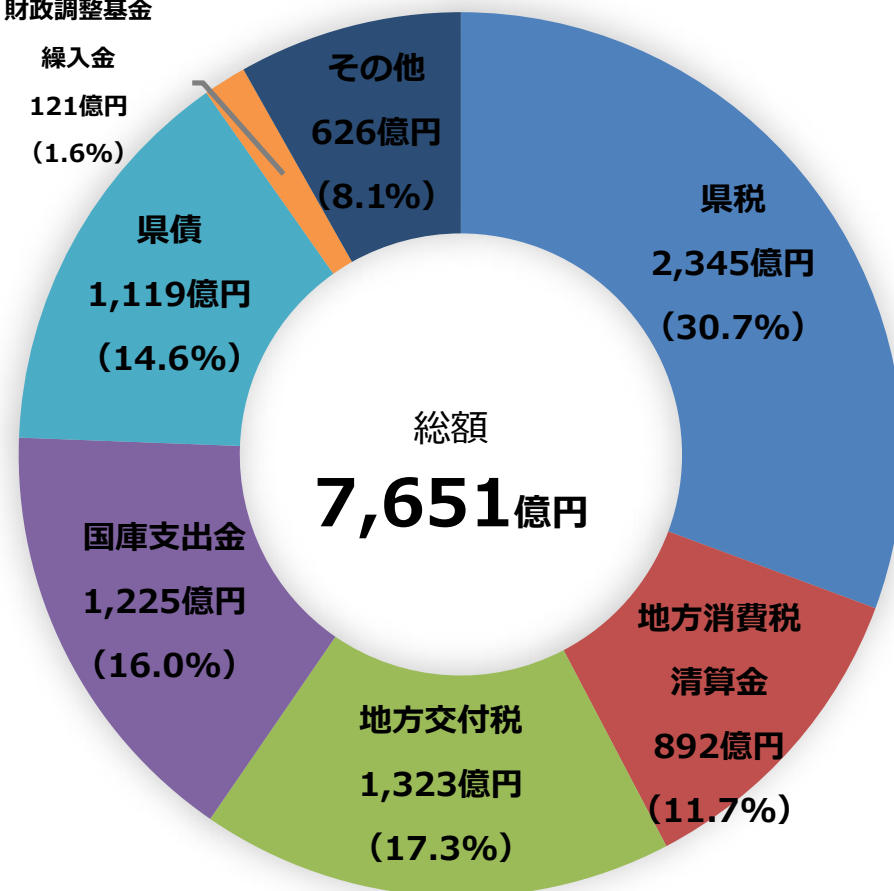
- 臨時財政対策債 + 270 億円
- 臨時財政対策債・減収補填債以外 ▲ 76 億円

財源対策として基金繰入金は増加

- 財政調整基金繰入金 + 95 億円

財政調整基金

繰入金
121億円
(1.6%)



歳出の状況

コロナ対策経費が大幅に増加

- その他経費 **+ 394** 億円

少子高齢化を反映し社会保障関係費は増加

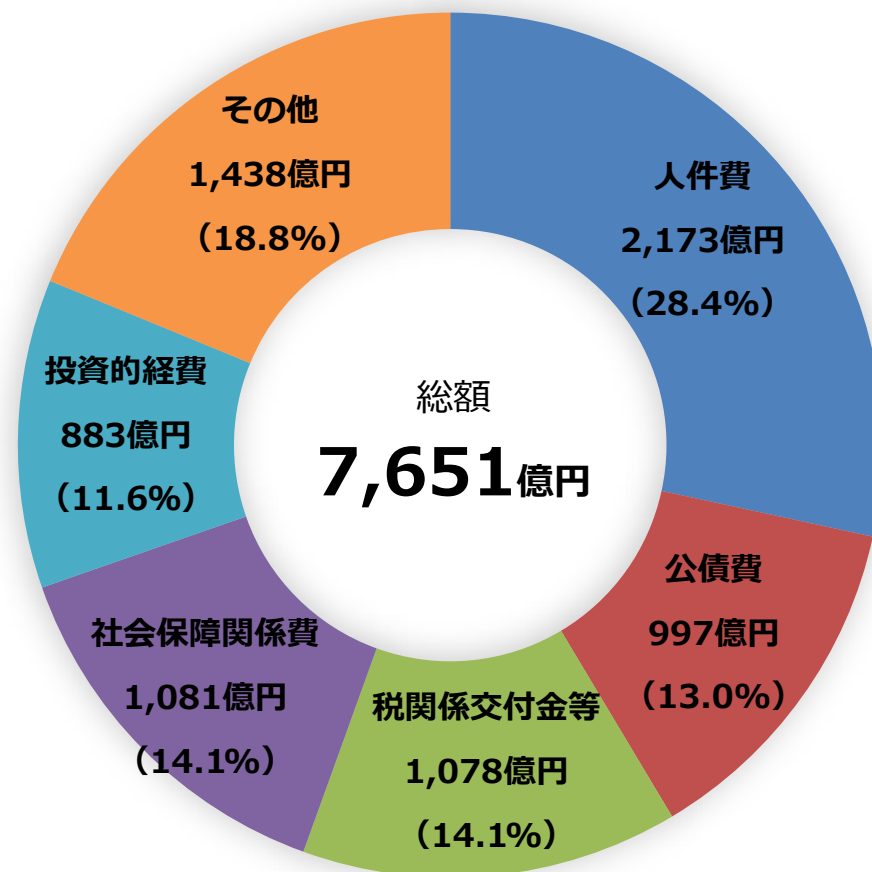
- 社会保障関係費 **+ 13** 億円

投資的経費は抑制

- 投資的経費 **▲ 91** 億円
- 防災・減災対策には重点的に予算を確保

税関係交付金等は減少

- 税関係交付金等 **▲ 87** 億円



5つの重点施策

1

コロナとの長期戦を戦い抜く



2

ニューノーマルの早期実現

～D Xの集中的な推進と防災・医療体制の強化～



3

100年続く自立した群馬の実現

～「始動人」の育成とSDGsの推進～



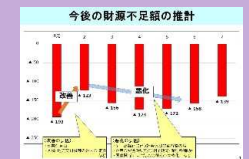
4

新たな富や価値の創出



5

財政の健全性の確保



コロナとの長期戦を戦い抜く

医療・検査体制の充実

● 医療提供体制の確保 341億5,464万円

- ・ 受入医療機関等確保
- ・ 軽症者等療養場所確保・運営 ほか

● 相談・検査体制の充実 42億1,112万円

- ・ 受診・相談センター運営
- ・ 地域外来・検査センター（PCRセンター）運営
- ・ PCR検査等の実施 ほか

● ワクチン接種の円滑な実施 5,579万円

- ・ 国、市町村等と連携した接種体制の整備や流通対応



県病院間調整センターとして入院調整を担う前橋赤十字病院



ワクチン接種の円滑な実施

コロナとの長期戦を戦い抜く

感染拡大防止対策

● 感染防止に配慮した福祉サービス提供体制の確保 4億8,669万円

- ・ 感染症対策を徹底した介護・障害福祉サービス提供支援
- ・ 医療介護連携による感染症の予防・対策
- ・ C-MAT（クラスター対策チーム）運営 ほか



感染症対策を徹底したサービス提供

● 児童養護施設等への感染症対策強化 6,383万円

- ・ 専門家を派遣し感染防止対策指導
- ・ 職員不足に備え、施設間の職員派遣体制を整備

● コロナ禍でも安全安心な公共交通の確保 1億6,614万円

- ・ バス、タクシー事業者に対し、車両の飛沫感染対策等を支援

コロナとの長期戦を戦い抜く

経済活動への支援

● 企業活動の継続支援（制度融資） ※融資枠総額 **2,000億円**

- ・ 経営サポート資金（新型コロナウイルス感染症対策資金）
- ・ デジタルトランスフォーメーション資金（新規） など

● ストップコロナ！対策認定制度 **1,880万円**

- ・ 感染症対策を行う事業者を応援する県独自の認定制度

● ニューノーマル創出支援 **1,560万円**

- ・ 認定事業者が連携して行うモデル的な商業活動を支援



ストップコロナ！対策認定制度

ニューノーマルの早期実現

行政と教育のDXの推進

- 県庁情報通信ネットワーク更新・運用 5億3,351万円 (債務負担行為 82億3,163万円)
- 情報システム最適化調査 2,999万円
- 教育イノベーション推進体制構築 416万円
 - ・教育委員会に「デジタル教育推進室」を新設
- ICT活用スキル育成プロジェクト 5億5,402万円
 - ・教育事務所に「教育DX推進コーディネーター」を配置
 - ・小中学校に「教育DX推進スタッフ」を配置し、現場を支援 など
- 県議会電子化推進 1,493万円

ぐんまでテレワーク等推進

- ぐんまでテレワーク推進プロジェクト 476万円
- 新しい働き方実現プロジェクト 874万円
- ツーリズムイノベーション（後掲） 6,066万円



ぐんまでテレワーク推進プロジェクト

ニューノーマルの早期実現

防災・減災対策

—— 「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、緊急的かつ重点的に

【ハード対策】

● 水害対策 42億9,236万円

- ・令和元年東日本台風により溢れた河川の堤防嵩上げ
- ・社会経済の壊滅的な被害を回避する河川整備
- ・河川やダム機能の維持・回復

● 土砂災害・道路防災・農地防災対策 245億63万円

- ・土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備
- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築 など

● 危機管理センター オペレーションルームの整備 1億6,956万円

- ・災害時等に関係機関が結集し業務を行うための常設スペースを県庁内に整備



整備イメージ

【ソフト対策】

● 水害対策 5億8,125万円

- ・リアルタイム水害リスク情報システムの構築
- ・要配慮者の避難確保計画の策定支援
- ・マイ・タイムラインの作成支援

● 土砂災害・農地防災対策 1億4,951万円

- ・要配慮者の避難確保計画の策定支援
- ・住民主体の防災マップの作成支援
- ・ため池のハザードマップ作成支援

ニューノーマルの早期実現

医師確保に向けた取組

5億3,516万円

● 研修医確保・医師の県内定着と偏在解消 3億6,649万円

- ・ 県外医学部生の病院見学費用助成 ・ 臨床研修病院PR動画作成
- ・ 医師確保オンライン説明会の実施 ・ 医学生修学資金貸与 ほか

● 診療科偏在対策 6,057万円

- ・ 医師確保修学研修資金貸与 ほか

● 男女を問わず医師が働き続けやすい環境づくり 1億810万円

- ・ 労働時間短縮に向けた取組を実施する医療機関への補助 ほか



遠隔医療連携推進

3,869万円

- オンライン診療実施のための過疎地域医療機関等への情報通信機器の購入費等補助
- オンライン診療に関するセミナー など



オンライン診療等を含めた
ウィズコロナ・ポストコロナの医療提供体制
の構築を目指す

「100年続く自立した群馬」の実現

官民共創コミュニティの推進

——県庁32階に整備した、官民共創スペース「NETSUGEN」と動画・放送スタジオ「tsulunos」を積極的に活用して、イノベーションを創出していく

● **官民共創スペース「NETSUGEN」の運営・活用** **6,122万円**

● **地域課題解決プロジェクト** **3,523万円**

- ・ 地域課題解決のための事業者との実証事業を実施

● **官民共創コミュニティ育成** **1,400万円**

- ・ 地域別未来ビジョン策定ワークショップや講演会の開催

● **アーティストックGUNMA** **5,794万円**

- ・ 県庁32階を会場にしたオークションの開催
- ・ アーティストと経済人との異業種交流 など



「100年続く自立した群馬」の実現

教育イノベーション

——新たな時代を切り拓く「始動人」育成のため、教育の在り方を改革・創造していく

● ニューノーマル GUNMA CLASS PJ 9億7,850万円

- ・ 県独自に小1～中3で少人数学級編制を導入
 - ・ ICTを活用した新しい学びと感染症対策
- ※小5、小6、中2、中3を新たに対象学年に追加

● STEAM教育推進プロジェクト 1,650万円

- ・ 地域資源を活用した探究型プログラム
- ・ 中高生向けワークショップ など

● ICTリテラシー向上プロジェクト 1,000万円

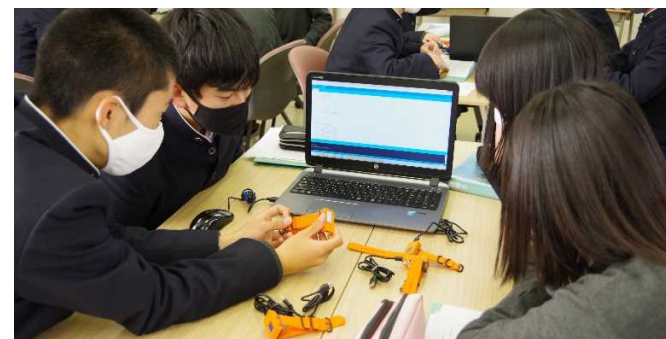
- ・ ゲーム感覚で学習できる教材の開発

● 教育イノベーション推進体制構築（再掲） 416万円

● ICT活用スキル育成プロジェクト（再掲） 5億5,402万円



教育イノベーション（1人1台PCの授業風景）（高山小学校）



STEAM教育の授業風景（吾妻中央高校）

「100年続く自立した群馬」の実現

「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現とSDGsの推進

- 防災・減災対策の集中的な実施（再掲）
- 「ぐんま再生可能エネルギープロジェクト」の推進 **2億6,588万円**
 - ・住宅用太陽光発電設備等導入資金融資
 - ・革新的環境イノベーションコンソーシアム など
- ぐんまゼロ宣言住宅促進（後掲） **1億550万円**
- 水素エネルギー活用調査研究 **3,300万円**
- プラスチックごみ「ゼロ」推進 **1,000万円**
- 食品ロス「ゼロ」推進 **1,089万円**
 - ・ドギーバッグ導入モデル事業
 - ・フードバンク活動支援 など
- 産業分野におけるSDGsの推進 **480万円**
 - ・SDGs ビジネスマッチング
 - ・SDGs コーディングプログラム など

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
- 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
- 宣言3 災害時の停電「ゼロ」
- 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」
- 宣言5 食品ロス「ゼロ」



「100年続く自立した群馬」の実現

多文化共生・共創県ぐんま推進

群馬県多文化共生・共創推進条例案 (令和3年第1回定例県議会提出予定)

● 多文化共生・共創推進基本計画策定、啓発 225万円

- ・多文化共生・共創社会の実現に向けた計画を策定
- ・多言語、メディアミックスによる周知啓発

● 多文化共創カンパニー認証制度創設 149万円

- ・多文化共創を先進的に取り組む県内企業を認証し、国内外に発信

児童虐待防止条例推進

群馬県虐待から子どもの生命と権利を 県民全体で守る条例案 (令和3年第1回定例県議会提出予定)

● 虐待を受けた子どもの受け皿確保 1億1,074万円

- ・リクルーターによる里親制度の普及啓発
- ・児童養護施設等の改修

● 子どもの権利擁護 1,031万円

- ・子どもの死因究明体制整備モデル事業

● 児童虐待への対応等強化 888万円

- ・虐待再発予防ガイドラインの作成 など

新たな富や価値の創出

ぐんまちゃんのブランド力強化

3億2,927万円

「ぐんまちゃん」を世界中で認知される**人気キャラクター**に！

● ぐんまちゃんのアニメ化 **1億6,328万円**

- ・令和3年度中のテレビ放映を目指す

● 全国プロモーション、キャラバン隊 **1億1,346万円**

- ・他県キャラクター訪問やぐんまちゃんお誕生日会開催 など

● 国内外のライセンス管理(商標権・利用許諾) ほか **5,253万円**



ぐんまちゃんのインスタライブ

ロケ誘致強化のための地域プロデュース

3,467万円

県内ロケ地等の開拓、ロケ地PV制作、英語版サイトの構築 など

新たな富や価値の創出

森林・林業予算を大胆に見直し、治山・林道事業から**林業・木材産業の振興**へシフト

ぐんまゼロ宣言住宅促進 1億550万円

県産木材を使用した省エネ・創エネ住宅である「ぐんまゼロ宣言住宅」の普及を目指す

● ぐんまゼロ宣言住宅供給促進支援 9,500万円

- ・住宅供給事業者等が連携してゼロ宣言住宅の供給に取り組むグループに対し県産木材の使用量に応じて支援

● 広告宣伝費補助 450万円

- ・ぐんまゼロ宣言住宅の普及に係る経費を支援

● 確認検査委託ほか 600万円

Z E B 推進モデル 1,000万円

構造材に県産木材を使用したZ E B（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を整備するモデル事業を実施

県産材品質向上強化対策 1,000万円

県産J A S 認証材の供給体制の強化を図るため、J A S 認証工場に製材を納品する小規模製材工場の設備投資を支援

新たな富や価値の創出

観光戦略の構造転換

ツーリズムイノベーション 6,066万円

- ニューツーリズム創出支援事業 5,013万円
- 新たな観光スタイルの普及など 708万円
- ワークেশョンの推進 345万円

インバウンド誘客促進 8,842万円

- 外国語観光情報サイト刷新 6,582万円
- デジタルプロモーション 1,420万円
- スマホ検索に対応した情報発信等 840万円



ワークেশョンの推進



インバウンド誘客促進

新たな富や価値の創出

eスポーツ推進・ゲーム依存症対策

- U19 eスポーツ選手権2021の開催 **4,000万円**
- 全日本実況王決定戦の開催 **900万円**
 - ・ eスポーツの魅力を伝える実況を競う大会を開催
- eスポーツ推進の土壌づくり **841万円**
 - ・ 社会人リーグ、福祉分野向けの実証事業 など
- ゲーム依存症対策の推進 **129万円**



第1回 U19 eスポーツ選手権

プロスポーツを活用した地域活性化

- プロスポーツを活用した地域活性化 **50万円**
 - ・ 県庁32階「NETSUGEN」を活用したアイデアソン等
- パブリックビューイングの実施 **100万円**
 - ・ プロスポーツや五輪のパブリックビューイング
- プロスポーツ感動体験プログラム **230万円**
 - ・ 県内小中学校などにプロスポーツ選手らを派遣



プロスポーツを活用した地域活性化

新たな富や価値の創出

G-アナライズ&PR等

- **分析機器整備・分析** **7,313万円**
 - ・機能性成分の分析用機器の整備
 - ・県で実施できない分析業務を委託し実施
- **販売促進・PR等** **5,589万円**
 - ・健康志向ツアーの造成や企業と連携したPR等



G-アナライズ&PR「上州地鶏」

新産業、新技術創出に向けた取り組み

- **湯けむりフォーラム** **3,000万円**
 - ・有識者による最先端の議論やエンターテインメント等を通してアイデアやイノベーションを創出
- **ぐんまDX技術革新補助** **7,243万円**
 - ・県内中小企業の製品開発・DX推進を支援
- **スタートアップ支援** **1,511万円**
 - ・スタートアップが集積し、成長できる好環境を形成
- **ぐんまのクリエイティブ拠点化推進** **4,000万円**
 - ・クリエイティブ人材育成のための拠点を整備
- **ニューノーマル創出支援（再掲）** **1,560万円**

財政の健全性の確保

計254件の事業を見直し

▲8.1億円

<例>

- 在宅要援護者総合支援 ▲8,181万円
- 尾瀬学校、芳ヶ平湿地群環境学習 ▲7,606万円
- 企業誘致推進補助金
- 千客万来支援 ▲7,000万円
- イベント・プロモーション等の手法の見直し ▲6,230万円

財政の健全性の確保

歳入（自主財源）の確保

ネーミングライツの拡大

4,058万円（R 2当初 3,948万円）

- 令和2年度から新たに2施設を導入し、現在は計8施設にネーミングライツを導入済み
- 更に、以下の施設について、**新たに導入**を検討

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| ①群馬県庁県民駐車場 | ⑦敷島公園テニスコート
(随時募集中) |
| ②ふれあいスポーツプラザ | ⑧観音山ファミリーパーク
自然の森、バーベキュー場 |
| ③ゆうあいピック記念温水プール | ⑨歩道橋 |
| ④馬事公苑 | ⑩ぐんま昆虫の森 |
| ⑤日本絹の里 | ⑪ぐんま天文台 |
| ⑥群馬の森 | |

ふるさと納税の積極的な活用

7,500万円（R 2当初 6,400万円）

- クラウドファンディング型ふるさと納税を引き続き実施するほか、返礼品の充実などにより、より積極的にふるさと納税を募集

①返礼品上限額の変更

2,000円まで → 寄附額の3割まで

②体験型返礼品の追加

<体験型返礼品の例>



カヌー体験（奥四万湖）

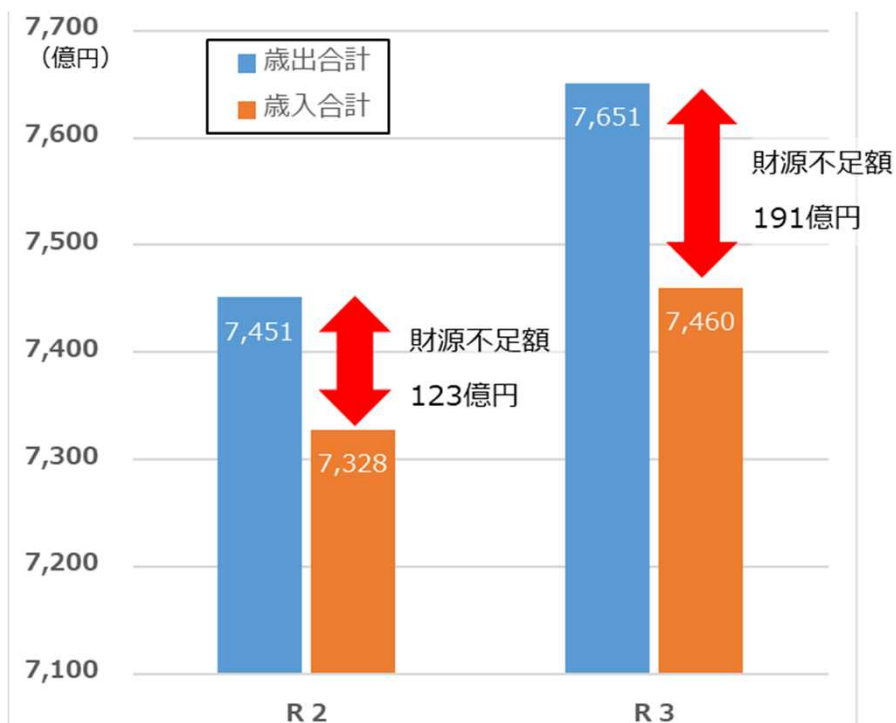


ジップライン（草津温泉スキー場）

財政の健全性の確保

財源不足への対応（財源対策）

コロナの影響により、財源不足額は
123億円から**191億円**に拡大



基金残高

事業の見直し等により
財政調整基金残高を**24億円**確保

予備費の確保

不測の事態に対応するため**7億円**を計上
(参考：R2当初予算2億円→補正予算で5億円増額)

県債残高の縮減

県債（臨時財政対策債や減収補てん債を除く）について

- 発行額は▲**76億円**削減
- 残高は▲**62億円**削減

令和3年度組織改正

① 行政・産業のDXを集中的に推進する体制整備

- ・ 知事の下にDX推進を統括するデジタルトランスフォーメーション推進監 (部長級) を新設
 - ・ デジタルトランスフォーメーション課にDX戦略室を、業務プロセス改革課にデジタル基盤室を新設
 - ・ 各部局にDX推進責任者 (各部局長)、DX担当係を設置
- ※DX (デジタルトランスフォーメーション) とは、デジタル技術を活用した変革

② 市町村との連携強化を図る体制整備

- ・ 県内全域に振興局を設置 (7 振興局 + 4 行政県税事務所 → 9 振興局)
- ・ 地域創生部に副部長 (地域連携担当)、地域創生課に地域連携主監を新設

③ 健康福祉部の体制強化

- ・ 保健予防課を感染症・がん疾病対策課に改組
- ・ 健康長寿社会づくり推進課を新設